

むつ市地域おこし協力隊活動状況報告書

むつ市長職務代理者 むつ市副市長 川西 伸二 殿

隊員氏名 山田 菜生子

次のとおり活動したことを報告します。

【活動報告月：2023年3月分】

1. 実施した活動の概要・状況

3月はNPOとして「【MUTSU×AIZU】ムチュベコプロジェクト」でクラウドファンディングに挑戦し、26日には地域内外98名の方によるご支援により、目標金額として設定した770,000円を達成することが出来た。プロジェクト広報にあたり、むつ市内外、多くの方々のご協力いただき下北文化会館など様々な施設で、ムチュベコの展示やポスターの掲示をしていただいた。

4月には、むつ市4人目となる地域おこし協力隊も着任するため、より一層活動の幅を広げていけたらと思う。

〈主な活動〉

○3月3日（金）～27日（月）【MUTSU×AIZU】コラボ赤べこ“ムチュベコ”を作って日本に元気を届けたい！

むつ市は会津藩の復興の地、「斗南藩」が置かれたことでも知られ、むつ市と会津地域は姉妹都市提携するなど現在も交流を続けている。本プロジェクトでは、「クラウドファンディングしもきた」制度を利用し、むつ市のPRキャラクター「ムチュランファミリー」と福島県会津地域の民芸品「赤べこ」を合体させた「ムチュベコ」の製作のための資金を募り、結果地域内外98名からの支援により775,000円の資金を集め、目標金額である770,000円を達成した。

また、両地域を結ぶキーワードのひとつに「天然痘との闘い」があげられ、赤べこの身体に描き入れられる斑点が天然痘の跡を表しているのに対し、むつ市川内地域の偉人「中川五郎治」が種痘（天然痘のワクチン）を日本で初めて行っており、コロナ禍の今全国に向けて疫病と闘った彼の功績を発信する機会にもなった。

今後もむつ市協力隊として両地域の親交を深める活動も行っていきたい。

クラウドファンディング 挑戦中！

【MUTSU×AIZU】
コラボ赤べこ“ムチュベコ”
を作って日本に元気を届けたい！

ムチュベコファミリー

この際、歴史的なつながりをきっかけに、むつ市の人気キャラクター「ムチュランファミリー」が、福島県会津地域の民芸品「赤べこ」とコラボします！コラボ赤べこ“ムチュベコ”には、両地域の先人たちが歴史を築ってきた歴史から、無縁な縁の繋がりが込められており、コロナ禍の今、“ムチュベコ”があなたに元気をお届けします！
ご支援、よろしくお祈りします！
プロジェクトの詳細については下のQRコードからぜひご覧ください。

NPO法人シエルフォレスト内
むつ市地域おこし協力隊
山田 菜生子
リターン

リターン	スケジュール	プロジェクトページ
※お礼状 : 500円		
※お礼状・お風呂・スタンプカード : 1,000円		
※ムチュランベコ : 5,000円		
※ムチュベコ : 5,000円		
※お礼セット : 9,000円		
※お礼セット : 12,000円		
※お礼セット : 20,000円		

プロジェクト支援締め切り
2023年3月27日（月）

リターン発送開始：2023年3月28日
リターン発送締め：2023年3月31日

※こちらのプロジェクトはクラウドファンディングしもきたのサポートを受け、実施しております。

お問い合わせ：NPO法人シエルフォレスト川内 0175-62-2411 担当：山田



○3月13日（月）～15日（水）長野県泰阜村・NPO 法人グリーンウッド研修

長野県泰阜村で子どもを対象とした山村留学や夏季キャンプなどを実施している NPO 法人グリーンウッド自然体験教育センターを訪問し、子どもたちへの教育や自然を使った活動、NPO の経営について学ぶほか、泰阜村村長様からも村での取り組みや NPO との連携などについてお話を伺った。

NPO 法人グリーンウッドのメイン事業である「暮らしの学校いだらぼっち」では、心を育むことを目的に活動を実施しているため、団体が用意する年間予定は存在せず、子どもたちが時間をかけて話し合い、毎日の起床時間から鶏の飼育計画まですべてを話し合いで決定するという。豊かな自然に囲まれながら、子どもたちが主体的に、コミュニティの一員として、しなやかで強い心「根っこ」を育めるよう、サポートをする。研修を通して、スタッフだけでなく参加している子どもたち、そして泰阜村全体において理念や目標がしっかりと共有されているように感じた。

人が手を加え続けることにより保全することのできる里山。里山だからこそ生まれた昔ながらの「話し合い」の文化が豊かな環境だけでなく、豊かな人を育む様子を学ぶことが出来た。

任期の関係から、「子どもたちのための漁村留学」イベントの企画、運営に関わることは難しいが、令和5年度から開始予定の「むつつ」事業など、地域の子どものたちに関わる際には子どもを枠に押し込めず、自律の邪魔をしない教育を心がけていきたい。

また、そのためにもスタッフ間で、定期的に話し合いを行い、安全基準だけでなく、プライバシーについての基準設定など、細かなイメージの共有を行いたい。



2. 翌月の活動予定

4月8日（土）大畑さくらロード清掃活動

4月11日（火）協力隊辞令交付式

4月13日（木）むつつ

4月20日（木）むつつ